

**生活習慣改善に係る介入検証業務
～データドリブンによる生活習慣改善策のアジャイル開発～
企画提案書作成要領**

広島県が実施する、生活習慣改善に係る介入検証業務～データドリブンによる生活習慣改善策のアジャイル開発～に係る企画提案公募（プロポーザル）に関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおり。

なお、本件に関し、別途健診データを活用した疾病リスク予測業務を調達中であることを勘案した上で、本件委託仕様書の趣旨に沿って提案すること。

1 企画提案時の提出書類

(1) 企画提案書一式（任意様式）

- ①表紙
- ②業務立案提案書
- ③実施体制図

(2) 事業予算見積書（任意様式）

本業務の委託期間は、契約締結日から令和5年3月31日であるが、実証試験は令和5年11月30日まで予定し、アプリの提供期間は令和5年9月末までを予定している。

そのため、見積書には本件調達部分である令和4年度の事業予算見積書と令和5年度の概算事業予算見積書を作成すること。

また、令和5年度の概算事業予算見積書については、令和4年度と同等の委託内容を見込むこと。

- ・当業務に係る所要経費を全て見積もること（消費税及び地方消費税相当額を含む。）。
- ・経費の内訳を記載すること。

(3) 提出部数

企画提案書一式：正本1部，副本9部

事業予算見積書：令和4年度及び令和5年度について，正本各1部

2 企画提案書の作成方法

(1) 提出書類は、原則として、原則A4版両面使用とすること。ページ番号は、目次を除き通し番号とし、各ページの下部に印字すること。

(2) 審査の公正を期すため、企画提案書の副本9部には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付さず、別途通知する提案者記号を付すこと。実施体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社又は当団体等」と記載すること。

(3) 下記3に沿った構成及び記載内容とすること。

3 企画提案書の構成及び記載内容

(1) 表紙（任意様式）

様式右肩に、参加資格確認通知の際に併せて通知する提案要請記号（アルファベット）を記入すること。

(2) 企画提案書（任意様式）

仕様書で示した次の各業務に対する具体的な業務内容を記載すること。

ア アプリを用いた参加者の健康増進に向けた取組の促進

- ・アプリで参加者が記録可能な項目（体重・歩数は必須）及び記録方法（手入力、デバイス連携の可否等）
- ・プッシュ通知、お知らせ機能（ポップアップ）等の概要

イ アプリを用いた参加者の行動変容のモニタリング

- ・随時モニタリングするログデータの広島県との共有方法（出力・送付方法等）
- ・アンケートの実施手法

ウ 広島県におけるレビュー等を受けたアプリのアジャイル開発及び介入方法の修正への対応

- ・本委託契約の範囲で対応可能な仕様変更等の範囲、対応に要する期間の目安

エ 実施状況レポートの作成及び参加者への周知について

- ・実施状況レポート機能の開発に必要な期間、初回表示時期の予定及びその内容（直近の健康診断の値、歩数記録、体重記録回数及び体重の推移、直近のアンケート回答状況や回答内容の参加者全体の分布との対比、前回アンケート回答との比較）

オ 参加者に対する、アプリ上におけるいわゆる「課金」、「広告」、「有料サイトへの案内」や実証試験に関係しないメッセージ（プッシュ通知を含む。）に対する制限内容

(3) 実施体制図（任意様式）

業務全体を監理する者及びその他の業務従事者について、指揮監督のあり方、配置、業務内容等を記載すること。

また、使用するデータの管理体制、システム障害、問合せ、セキュリティ事故に対する連絡体制を明らかにすること。

4 その他

本業務と同種又は類似業務の実績がある場合は、具体的に記載すること。